

一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞 選定委員会
設立趣意書（案）

愛知県建設業協会と国土交通省中部地方整備局は、定期的な意見交換を通じて建設業にまつわる様々な課題の解決に取り組んでおり、中でも、建設業に対する社会からの共感の獲得は、建設業が担い手を確保し、将来にわたって社会経済活動を支え続けていく上で最も重要な課題であるとの認識で一致している。

このような共通認識のもと、自らの活動、意義について社会の皆様から正しく理解いただき、共感を少しでも持っていただくべく、例えば企業側においては、工事現場そのもののイメージアップに加え、広告やイベント出展、学生との連携などコミュニケーションの活発化に積極的に取り組んでいるところである。

更に企業側と官公庁（発注）側との協力・協調により社会からの共感の拡大を図っていこうとする中で、今般、共に改善の必要性を認識したのが、多くの皆様におそらく無意識のうちに目に入っている工事現場における看板メッセージである。

メッセージについては、通達類により「工事の主体・目的・内容を一目でわかるようにすること」とされているが、中には、工事の目的、すなわち工事によってどのような価値を皆様に提供しようとしているのかが伝わらないものや専門用語を用いているがために工事の内容が伝わらないものも存在する。

伝えよう、解っていただくという意志・意欲が見られないメッセージが目につく環境は、共感を得ていく上でマイナスであることから、工事看板のメッセージもまた社会の皆様との大切なコミュニケーションの機会ととらえ、理解・共感を頂こうという姿勢が伝わるものにしていく必要がある。

このため、愛知県建設業協会と中部地方整備局では、愛知県内の直轄工事現場における看板メッセージを対象に、伝わるメッセージの作成・設置に努力し、多くの皆様の目に触れるようにした取り組みを称えることとした。

具体的には、工事を受注している企業に、「工事の主体・目的・内容を一目でわかるようにする」という条件の下で看板メッセージを作成・設置のうえ応募してもらい、この中から実際に一目で伝わるもの、あわせて伝えようという意欲が伝わってくるものを評価しようとするものである。評価を行うにあたっては、一目でわかる情報量の中で、一般の皆様にも内容や熱意が伝わるかの評価を行うため、あえて建設業の専門家以外の「ことばの専門家」の方にも協力を依頼したところである。

愛知県から始めるこの取り組みによって、工事関係者の間に、看板メッセージもまた社会とのコミュニケーションの重要な機会との認識が広がり、これまでなんとなく作成されていたメッセージが内容や意欲が伝わるものに変わっていくこと、そして社会からの共感向上の一助となることを切に願い、メッセージの評価を行う主体として「一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞 選定委員会」を設置する。